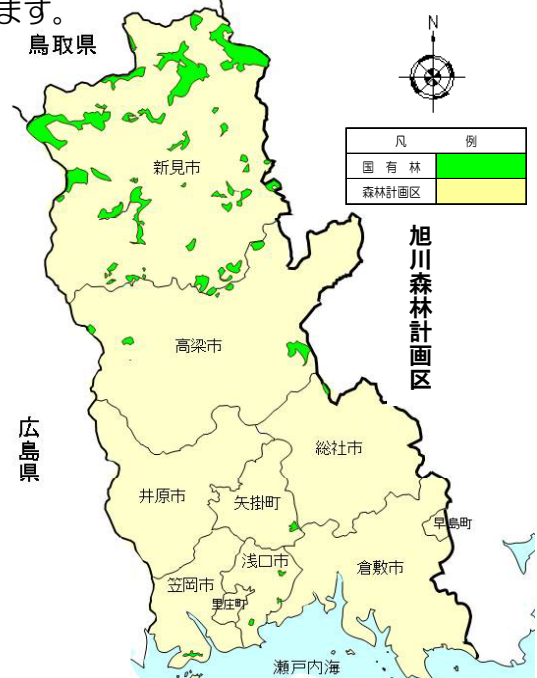


地域管理経営計画の概要

高梁川下流森林計画区

1 森林計画区の概況

高梁川下流森林計画区の国有林野 9,613haは、岡山県西部の新見市を中心に比較的大きな団地があり、瀬戸内海沿岸部に小面積の団地が点在しています。



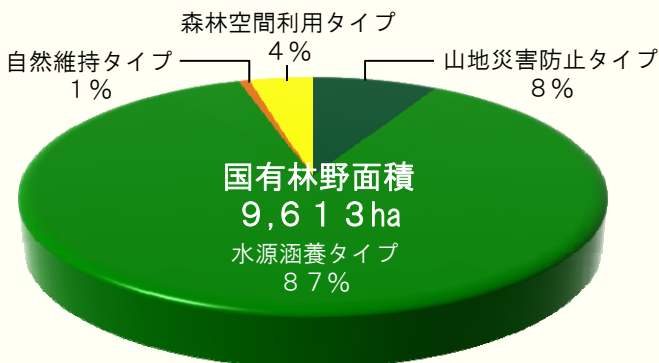
森林計画区内の森林面積に占める国有林野の割合は6%ですが、国有林野面積の90%が水源かん養保安林に指定されており、脊梁部の水源地域は、下流部の水源涵養機能の確保に重要な役割を担っています。

一方、森林資源のうち国有林野面積(林地)の78%が人工林であり、岡山県の民有林の人工林率40%(岡山県森林・林業統計(平成26年3月31日))と比較するとかなり高い水準にあります。また、樹種別にはスギ、ヒノキが93%を占めており、この森林蓄積の約7割が10~13齢級の成熟した林分となっていることから、公益的機能の高度発揮を図るなかで、木材の安定供給により地域林業の中核としての責務にこたえることとしています。

国有林・民有林別森林面積

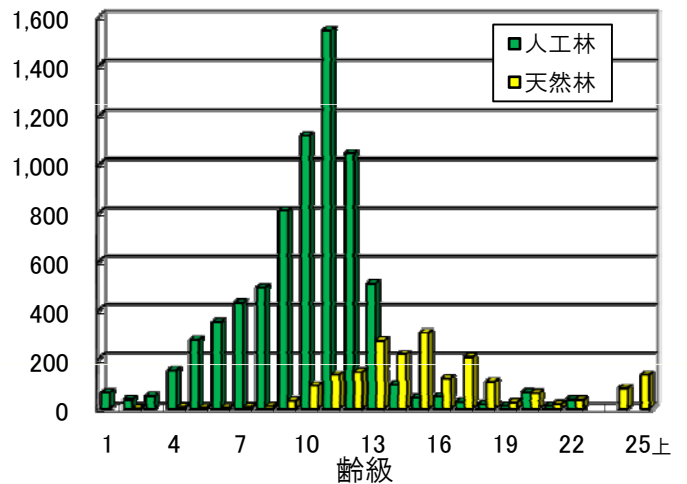


機能類型別面積



面積(ha)

人天別・齢級別面積



注・各データは平成27年現在。

・齢級とは、5年をひとくくりにし、林齢1~5年生を1齢級、6~10年生を2齢級、以下、3齢級、4齢級と続く。

2 主要事業

地球温暖化防止をはじめとする森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるため、2,552ha（253千 m^3 ）の間伐等を実施し、間伐材の有効利用に努めるとともに、515ha（135千 m^3 ）の主伐を実施し、木材の計画的な供給に努めます。

種 類		新 計 画	現 計 画
伐採総量	主 伐	515ha（135,074 m^3 ）	132ha（39,477 m^3 ）
	間 伐	2,552ha（252,648 m^3 ）	2,729ha（246,613 m^3 ）
更新総量	人工造林	420.76ha	143.64ha
	天然更新	1.00ha	2.08ha
保育総量	下 刈	1,312.18ha	500.38ha
	除 伐	60.24ha	124.77ha
林道事業	開 設	4,150m	20,660m
	改 良	—	4,040m
治山事業	保全施設	4箇所	8箇所
	保安林整備	5.52ha	—

- 注・主伐とは、利用期に達した樹木を伐採し収穫すること。間伐と異なり伐採した後に更新を行う。
 ・間伐とは、育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて一部の樹木を伐採すること。
 ・更新とは、伐採等により樹木がなくなった箇所において、植林を行うことや自然力の活用等により森林の世代が替わること。
 ・除伐とは、育てようとする樹木の生長を妨げる他の樹木を刈り払う作業。通常、育てようとする樹木の枝葉が互いに接する状態になるまでの間に行う。

3 国有林野の維持及び保存に関する事項

保護林

原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、施業及び管理技術の発展等に特に資することを目的として「保護林」を設定しています。

特に希少種の保護を目的とした保護林においては、将来的に保護対象種の生息環境を保護するための施業が必要となる場合があることも考慮しつつ、モニタリング調査を通じた適切な保護管理に努めます。



種 類	名 称	特徴等	国有林名 (市町村)	面 積 (ha)
希少個体群保存林	末光山ケヤキ・イヌシデ・コナラ等 遺伝資源希少個体 群保護林	ケヤキ、コナラ等の天然 分布地等を保護し、林木 遺伝資源の保存	末光山 (新見市)	9.40
〃	天王山ヒメボタル 希少個体群保護林	金ボタル（ヒメボタル） の生息地の保全・形成	天王山 (新見市)	8.75

4 林産物の供給に関する事項

木の文化を支える森づくり

民有林からの供給が期待しにくい世界文化遺産等に指定されている歴史的木造建築物等の檜皮葺屋根の資材を安定的に供給するとともに、檜皮採取の技術者である原皮師の技術継承に貢献し、地域における文化の継承や伝統産業の振興に取り組みます。

注・檜皮葺は、ヒノキの樹皮を用いて屋根を葺く日本独自の屋根工法で、伝統的な木造建築物に多く用いられています。清水寺や出雲大社本殿、厳島神社諸殿等が代表的な建築物としてあります。



5 国有林野の活用に関する事項

保健・文化・教育的な活動への推進

高梁市街地の北方に位置する臥牛山国有林では、天守の残る唯一の山城として知られる「備中松山城」があり、山頂からは城下町の家並みと高梁川の清流、中国山地の重畳する山々を眼下に収めることができることから、国民の保健・文化・教育的利用の場として提供します。

なお、森林空間利用タイプの森林については、国民に憩いと学びの場を提供したり、豊かな自然景観や歴史的風致の構成に向けた管理経営に取り組みます。



6 その他国有林野の管理経営に関し必要な事項

林業技術の開発・指導・普及

施業指標林、試験地等の展示、現地検討会の開催等を通じて地域の林業関係者に新たな森林施業の普及を図るとともに民有林行政、試験研究機関等との連携を密接に取りながら、必に応じて試験研究、技術普及のためフィールドの提供、データの収集・分析等を行います。

種類	箇所数	面積 (ha)
施業指標林	2	17.93
試験地	12	473.84
展示林	6	11.86
遺伝子保存林	3	4.76
次代検定林	13	11.81

